

平成28年度 トライアル期間

環境活動レポート



対象期間 : 平成28年4月1日～平成28年6月30日

発行年月日 : 平成28年7月23日

有限会社 芦名商会

目 次

1	挨拶	2
2	環境方針	2
3	事業概要&認証登録範囲	3
4	実施体制	4
5	環境目標	5
6	環境活動計画	7
7	環境目標の実績	8
8	環境活動計画の取組結果とその評価、トライアル以降の取組内容	11
9	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	13
10	代表者による全体評価と見直し結果	13
11	情報公開事項	14

1 挨拶

昨今の廃棄物は、住民生活の多様化に伴い発生する廃棄物に対する対応として、その発生を抑制する（リデュース）、使用済み製品の再利用（リユース）、回収物の再資源化（リサイクル）を三本柱とした、可能な限りの廃棄物の減量を図る、環境負荷の低減化が求められております。

当社においては、環境保全を第一義務とし、処理、処分の円滑化を図るための迅速な収集運搬を心がけ、委託基準を遵守して遂行してまいります。そして、収集運搬業務の際の交通事故の防止をはじめ、廃棄物の飛散、流失等の基本的なミスを防止し、安全な業務を行っております。

今後は、収集運搬業者として地域社会の一員としての認識と情報公開をベースにした事業運営を行い、地域社会とのさらなる信頼関係を築いてまいりますので、宜しくお願い致します。

代表取締役社長

芦名 鉄雄

2 環境方針

《環境理念》

適正処理でお届けします 安心と笑顔

地球の資源には限りがあります！！

芦名商会では廃棄物を再資源化、減量化に取り組んでおります。限りある資源を大切にしましょう！！

今、私たちの地球は深刻な問題を抱えています。大量生産、大量消費の果ての大量廃棄。

今、地球は悲鳴を上げています。地球温暖化、大気汚染、水質汚濁、資源の枯渇、生物の絶滅などさまざまな問題を抱えています。このままでは、私たちの子孫にあたる次の世代には、今の地球環境はありません。

私たち(有)芦名商会は、地球環境にやさしい廃棄物の処理を考えて、また限りある資源の再利用、再資源化を考えて日々努力と研究をしています。

すべては次の世代のために・・・

《環境保全への行動指針》

- 1、事業活動に伴うCO2排出量の削減に取り組み、環境負荷の軽減に努めます。
- 2、廃棄物中間処理の受託量における使用電気量の削減に努めます。(単位:kgCO2/t)
- 3、事業場における省資源、省エネ、節水及びグリーン調達に努めます。
- 4、お客様に役立つ情報を提供できるように、取り組みや教育を通じ社員の資質を高めます。
- 5、事業活動に関連する法規制等は、確実に順守することを誓約いたします。
- 6、周辺自治会の資源回収の取り組みの協力や環境活動レポートの公表など、地域との環境コミュニケーションに努めます。

制定日：平成28年4月1日

改訂日：平成 年 月 日 版

有限会社 芦名商会

代表取締役社長

芦名鉄雄

3 事業概要&認証登録範囲

- 1 名称及び代表者名
 有限会社 芦名商会
 代表取締役社長 芦名 鉄雄
- 2 所在地
 本社(登記簿上) 岩手県盛岡市加賀野1丁目4番22号
 事業本部 岩手県紫波郡矢巾町藤沢第10地割字大下田183番2
 中間処理施設 同上
 赤沢駐車場 岩手県紫波郡紫波町赤沢字下岡田4-1-6・4-2-3・3-4-4
 東見前駐車場 岩手県盛岡市東見前8地割2-4-2
- 3 環境管理責任者及び担当者連絡先
 環境管理責任者 常務取締役 芦名 英樹 TEL:019-697-3237
 実務者 事業部長 和川 賢 TEL:019-697-3237
- 4 事業活動の内容
 一般廃棄物処理業、産業廃棄物処理業、一般及び産業廃棄物の再生、その再生品の販売、古物商及び美術工芸品の販売
- 5 事業規模 平成27年度実績
 資本金 300万円
 売上高 327百万円
 部門別売上高

部 門	朝コース課	特注課	特注課(医療)	特注課(段ボール)	リサイクル課	事業本部
従 業 員(名)	8名	7名	2名	3名	5名	10名
売 上 高(百万円)	160	78	37	18	31	-

- 6 認証登録範囲
 事業本部、中間処理施設、赤沢駐車場、東見前駐車場
- 7 営業範囲
 産業廃棄物：岩手県・宮城県
 一般廃棄物：盛岡市・紫波町・矢巾町・滝沢市・雫石町・八幡平市・岩手町
- 8 社歴
 創立 昭和57年4月1日

『環境活動状況』



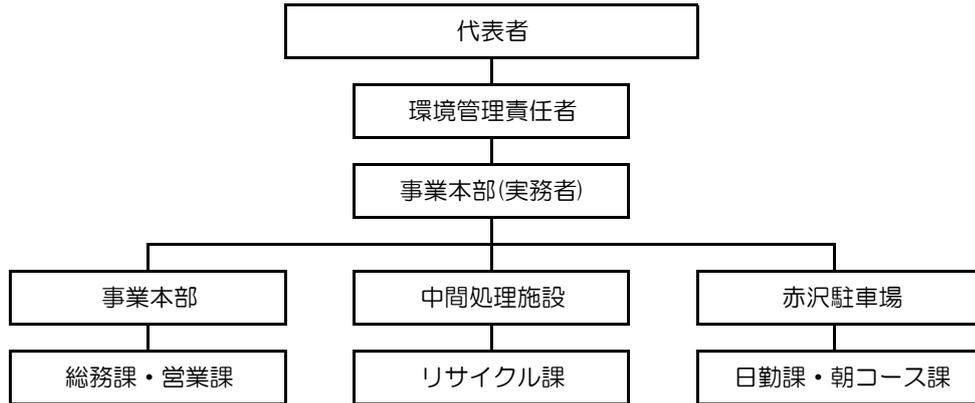
事業計画として取り組むE A21の全体説明会



中間処理施設の緊急事態訓練

4 実施体制

(1) 組織図



(2) 環境経営システム 役割・責任・権限表

役割・責任・権限	
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境方針の制定
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 責任者は常務取締役とし、事業本部(実務者)が召集する。 環境経営システムの構築、実施、管理。 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） 不具合がある場合は是正処置の実施
事業本部(実務者)	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 従業員に対する教育訓練の実施 取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。
各課 課長	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動の取組結果を事業本部(実務者)に報告。 担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。 省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。
全社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

5 環境目標

1 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項目		単位	27年度
二酸化炭素排出量	中間処理電力の二酸化炭素排出量の削減(事業本部・中間処理施設)	kgCO ₂ /t	120
	電力の二酸化炭素排出量の削減(赤沢駐車場)	kgCO ₂	11,847
	ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減(事業本部/中間処理施設)	kgCO ₂	55,049
	軽油等の二酸化炭素の削減(赤沢駐車場)	kgCO ₂	806,212
	灯油、LPG等の二酸化炭素の削減(事業本部/中間処理施設)	kgCO ₂	4,572
	灯油の二酸化炭素の削減(赤沢駐車場)	kgCO ₂	7,404
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減(可燃ごみ)(事業本部)	kg	260
	一般廃棄物の削減(紙ごみ)(事業本部)	kg	362
	産業廃棄物の削減(廃エンジンオイル)	ℓ	600
総排水量	節水	m ³	1,282
環境配慮製品	受託した産業廃棄物のリサイクル率100%維持	%	100
サービス	環境苦情	件	0
グリーン調達	事務用品	品種	10
社員教育	E A21取組み教育	回	0
	資質向上教育	回	2
地域貢献	自治体資源回収	回	6

購入電力の二酸化炭素排出係数は、H27年11月公表の東北電力の実排出係数0.571kg-CO₂/kwhを使用

2 環境目標の設定

当社では、平成27年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

基準年度(平成27年度)比の削減率

項目		単位	トライアル	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
二酸化炭素排出量	中間処理電力の二酸化炭素排出量の削減(事業本部・中間処理施設)	kgCO ₂ /t	1%削減	1%削減	1.5%削減	2%削減	2.5%削減	3%削減
	電力の二酸化炭素排出量の削減(赤沢駐車場)	kgCO ₂	1%削減	1%削減	1.5%削減	2%削減	2.5%削減	3%削減
	ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減(事業本部/中間処理施設)	kgCO ₂	1%削減	1%削減	1.5%削減	2%削減	2.5%削減	3%削減
	軽油等の二酸化炭素の削減(赤沢駐車場)	kgCO ₂	1%削減	1%削減	1.5%削減	2%削減	2.5%削減	3%削減
	灯油、LPG等の二酸化炭素の削減(事業本部/中間処理施設)	kgCO ₂	1%削減	1%削減	1.5%削減	2%削減	2.5%削減	3%削減
廃棄物排出量	灯油の二酸化炭素の削減(赤沢駐車場)	kgCO ₂	1%削減	1%削減	1.5%削減	2%削減	2.5%削減	3%削減
	一般廃棄物の削減(可燃ごみ)(事業本部)	kg	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
	一般廃棄物の削減(紙ごみ)(事業本部)	kg	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
	産業廃棄物の削減(廃エンジンオイル)	ℓ	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
総排水量	節水	m ³	1%削減	1%削減	1.5%削減	2%削減	2.5%削減	3%削減
環境配慮製品	受託した産業廃棄物のリサイクル率100%維持	%	100%維持	100%維持	100%維持	100%維持	100%維持	100%維持
サービス	環境苦情	件	0を維持	0を維持	0を維持	0を維持	0を維持	0を維持
グリーン調達	事務用品	品種	現状維持	12以上	前年以上	前年以上	前年以上	前年以上
社員教育	E A21取組み教育	回	1	3	3	3	3	3
	資質向上教育	回	2	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
地域貢献	自治体資源回収	回	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

6 環境活動計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取組んでおります。(トライアル期間： 28年4月～6月)

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	取組内容	評価			
		4月	5月	6月	満点
二酸化炭素排出量削減	照明				
	①昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する	2	2	2	6
	②会議室、給湯室、社員用トイレ、倉庫、更衣室等不必要な時は、消灯している。	2	2	2	6
	③事務室の部分照明を実行する。	2	2	2	6
	④照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している。	2	2	2	6
	冷暖房				
	①冷暖房の温度（冷房28℃、暖房20℃）を順守する。	2	2	2	6
	②エアコンのフィルターの清掃を定期的（最低、毎月1回）に行う。	0	2	2	6
	③空調を必要な区域・時間帯に限定する。	2	2	2	6
	④使用していない部屋は、空調を停止している	2	2	2	6
	⑤ドアの開け放しはしない。	2	2	2	6
	設備の節電				
	①残業の時は、必要な箇所のみ点灯し、業務に必要なない箇所は消灯する。	2	2	2	6
	②昼休みなど、休憩時、不必要な箇所は消灯する。パソコンの電源は切る。	1	2	2	6
	③退社時は、OA機器の待機電源は切る。	2	2	2	6
	【エコドライブ運動の展開】				
	①車両のアイドリングストップを実践する。	2	2	2	6
	②急発進・急加速はしない。	2	2	2	6
	③空ぶかしはしない。	2	2	2	6
	④冷暖房の控えめ使用	2	2	2	6
⑤最大積載量に見合った輸送単位の設定を行う。	2	2	2	6	
⑥車両のタイヤローテーションを計画的に行う。	2	2	2	6	
⑦ハイブリッド車や低公害車への切り替えに取組んでいる。	2	2	2	6	
灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	冷暖房				
①冷暖房の温度（冷房28℃、暖房20℃）を順守する。	2	2	2	6	
廃棄物の排出量抑制	【コピー用紙の使用量を抑制する】				
	①両面印刷、コピーを徹底する。	2	2	2	6
	②コピーをする前に、コピー機の設定の確認を行い、ミスコピーを減らす	2	2	2	6
	③コピーは最小限の枚数を行い、余分なコピーは行わない	2	2	2	6
	④使用済み用紙(片面コピー)の裏面を利用する。	2	2	2	6
	【紙の分別を行う】				
	①個人情報等を含んだ書類はシュレッダー処理を行うが、シュレッダーする前に分別を行う。	2	2	2	6
	②分別されたシュレッダーごみは資源回収業者へ引き渡す。	2	2	2	6
	③使用済コピー用紙、段ボール、雑誌、新聞紙等は、所定の場所に分別保管する。	2	2	2	6
	【紙は資源回収業者に引き渡す】				
	①分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。	2	2	2	6
	【コンピュータ等OA機器の導入により事務を高度化する】				
	①電子メール等を利用し紙を削減する	2	2	2	6
	②パソコンで社内ネットワークを構築し、文書を共有する	2	2	2	6
	③文書の共有により、不要な印刷物を削減する	2	2	2	6
	【その他】				
	①商品や郵便や宅配便等の包装は、できるだけ簡易なものを選ぶ	2	2	2	6
	②不要なダイレクトメールは「受取拒否」する	2	2	2	6
	③オフィス用紙には、できるだけ再生紙を購入し、使用する	2	2	2	6
	【廃棄物の発生を抑える】				
①ゴミ箱の中に紙などを混入させないなど、廃棄物の分別を徹底する。	2	2	2	6	
【オフィス等におけるリサイクルの促進】					
①紙・金属缶等は、所定の保管容器に確実に分別する。	2	2	2	6	
②コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルを推進する。	2	2	2	6	

節 水	産業廃棄物 (建設副産物)の削減	①廃油、廃プラスチック、金属くず、ガラスくずなどは所定の置場に分別保管する。	2	2	2	6	
		②飛散、漏洩、悪臭、印象など、保管の状態に問題がないよう適正な管理を行う。	2	2	2	6	
		③産業廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を行う。	2	2	2	6	
		水道水の削減（節水）	①洗車時の無駄水の防止（ストップノズル取付）に努める。	2	2	2	6
			②蛇口の水漏れがないか確認する。	2	2	2	6
			③トイレ用水の節約に努める。	2	2	2	6
			④水道水を出しすぎない。	2	2	2	6
			⑤水道を流しながら使用しない。	2	2	2	6
			⑥節水の表示を行う	0	2	2	6
			⑦場内側溝などの油分、ゴミなどの浮遊物を除去する。	2	2	2	6
⑧油水分離槽などは、適切な管理に努める。	2		2	2	6		
⑨事故防止や汚染防止のためにウエス、吸着マットなどは、適切に保管する。	2		2	2	6		
グリーン購入 社員教育 地域活動	①事務用品購入の際は、グリーン購入対象商品を優先的に選択する。 ②エコアクション21の取り組みを通じて、社内報で毎月の取り組み状況報告を行い、環境活動への意識向上を図る。 ③周辺地域の自治会の資源回収への取り組みに協力する。	1	2	2	6		
		2	1	1	6		
		2	2	2	6		

7 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。
今回は、エコアクション21を開始した平成28年4月から6月までの実績についての評価結果を表4のとおり報告いたします。
(以下、評価結果等について簡潔にコメントします)。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

使用電力(kwh)	事業本・中間処		H28 削減目標		%削減
	4月	5月	6月	平均	
基準年 H27	8677	7590	8959	8409	25226
H28 目標値	8590	7514	8869	8324	24973
H28 実績値	9252	7807	7739	8266	24798
目標-実績	175				

使用電力(kwh)	赤沢駐車場		H28 削減目標		%削減
	4月	5月	6月	平均	
基準年 H27	2332	1744	1648	1908	5724
H28 目標値	2309	1727	1632	1889	5668
H28 実績値	1392	1445	1226	1354	4063
目標-実績	1605				

夜間カンラン(L)	事業本・中間処		H28 削減目標		%削減
	4月	5月	6月	平均	
基準年 H27	716	982	1076	924	2773
H28 目標値	709	972	1065	915	2746
H28 実績値	851	953	965	923	2769
目標-実績	-23				

使用軽油(L)	事業本・中間処		H28 削減目標		%削減
	4月	5月	6月	平均	
基準年 H27	0	0	0	0	0
H28 目標値	0	0	0	0	0
H28 実績値	200	200	200	200	600
目標-実績	-600				

使用軽油(L)	赤沢駐車場		H28 削減目標		%削減
	4月	5月	6月	平均	
基準年 H27	13943	13313	13453	13570	40709
H28 目標値	13804	13180	13319	13434	40303
H28 実績値	13157	11914	12211	12427	37282
目標-実績	3021				

使用灯油(L)	事業本・中間処		H28 削減目標		%削減
	4月	5月	6月	平均	
基準年 H27	81	0	0	27	81
H28 目標値	80	0	0	27	80
H28 実績値	0	0	0	0	0
目標-実績	80				

使用灯油 (L) 赤沢駐車場			H28 削減目標 1 %削減		
	4月	5月	6月	平均	計
基準年 H27	517	0	0	172	517
H28 目標値	512	0	0	171	512
H28 実績値	0	0	0	0	0
目標-実績	512				

使用LPG(kg)事業本/中間給			H28 削減目標 1 %削減		
	4月	5月	6月	平均	計
基準年 H27	1.45	1.45	1.45	1.45	4.35
H28 目標値	1.43	1.43	1.43	1.43	4.29
H28 実績値	2.07	2.07	2.07	2.07	6.21
目標-実績	-1.92				

リサイクルにおける二酸化炭素排出量 (kg-CO2/事業本・中間給)			H28 削減目標 1 %削減		
	4月	5月	6月	平均	計
基準年 H27	118	184	197	166	499
H28 目標値	117	182	195	165	494
H28 実績値	131	112	100	114	343
目標-実績	151				

二酸化炭素排出量 (kg-CO2)事業本・中間給			H28 削減目標 1 %削減		
	4月	5月	6月	平均	計
基準年 H27	6824	6617	7617	7019	21057
H28 目標値	6755	6551	7541	6949	20847
H28 実績値	7789	7200	7190	7393	22179
目標-実績	-1332				

二酸化炭素排出量 (kg-CO2)赤沢駐車場			H28 削減目標 1 %削減		
	4月	5月	6月	平均	計
基準年 H27	39159	35882	36196	37079	111236
H28 目標値	38768	35525	35835	36709	110127
H28 実績値	35272	32046	32699	33339	100018
目標-実績	10110				

水道使用量 (m³)			H28 削減目標 1 %削減		
	4月	5月	6月	平均	計
基準年 H27	76	92	77	82	245
H28 目標値	75	91	76	81	242
H28 実績値	112	135	59	102	306
目標-実績	-64				

一般廃棄物 (焼却+最終処分) 排出量 事業本部可燃ごみ (kg)			H28 削減目標 現状維持		
	4月	5月	6月	平均	計
基準年 H27	20	25	20	22	65
H28 目標値	20	25	20	22	65
H28 実績値	20	20	15	18	55
目標-実績	10				

一般廃棄物 (焼却+最終処分) 排出量 事業本部 紙ごみ (kg)			H28 削減目標 現状維持		
	4月	5月	6月	平均	計
基準年 H27	32	28	30	30	90
H28 目標値	32	28	30	30	90
H28 実績値	25	24	21	23	70
目標-実績	20				

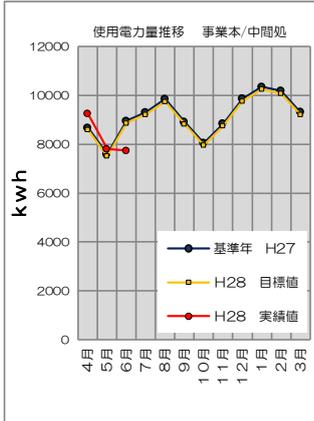
産業廃棄物 (焼却+最終処分) 排出量 廃エンジンオイル (t)			H28 削減目標 現状維持		
	4月	5月	6月	平均	計
基準年 H27	0	0	0	0	0
H28 目標値	0	0	0	0	0
H28 実績値	0	0	0	0	0
目標-実績	0				

受託した産業廃棄物のリサイクル率100%維持			H28 削減目標 100 %維持		
	4月	5月	6月	平均	計
基準年 H27	100	100	100	100	300
H28 目標値	100	100	100	100	300
H28 実績値	100	100	100	100	300
目標-実績	0				

環境苦情		H28 削減目標		0を維持	
	4月	5月	6月	平均	計
基準年 H27	0	0	0	0	0
H28 目標値	0	0	0	0	0
H28 実績値	0	0	0	0	0
目標-実績	0				

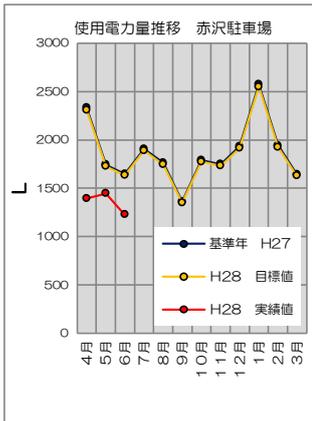
グリーン調達		H28 削減目標		現状維持	
	4月	5月	6月	平均	計
基準年 H27	10	10	10	10	30
H28 目標値	12	12	12	12	36
H28 実績値	12	12	12	12	36
目標-実績	0				

8 環境活動計画の評価、トライアル以降の取組内容



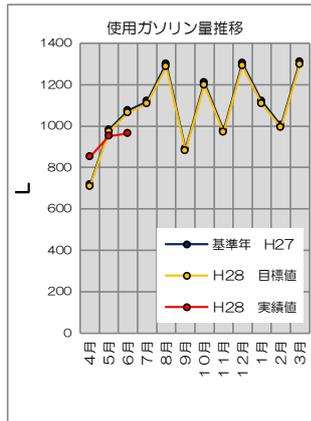
評価
達成

トライアル後半の意識付けによる各人の取組が奏功した。今後も夏の休憩時の消灯に努めていきたい。



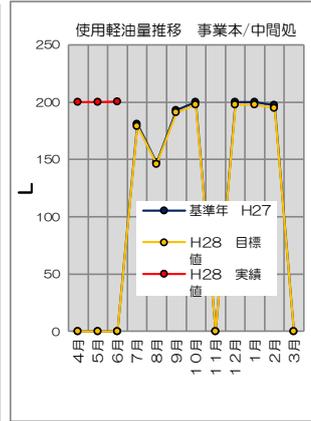
評価
達成

取組み開始より節電意識が高く、各人が頑張っていた。今後も継続していきたい。



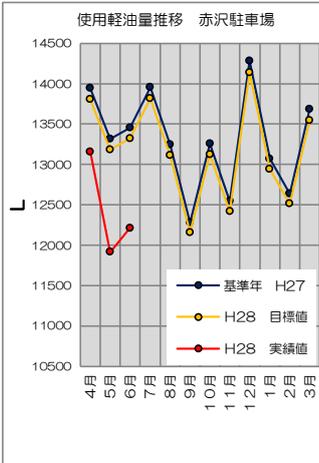
評価
未達成

年度初めは外気温が高く、アイドリングストップ等の取組がなかなか難しい状況も考慮したが、各人への意識付けを継続していきたい。



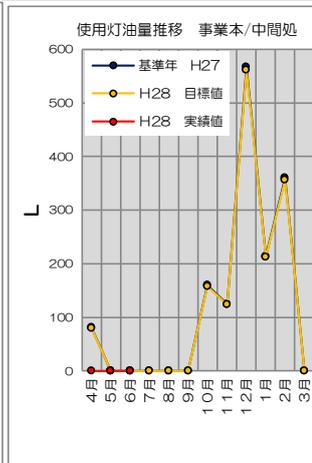
評価
未達成

3月周期で購入しているようで、経過観察中である。



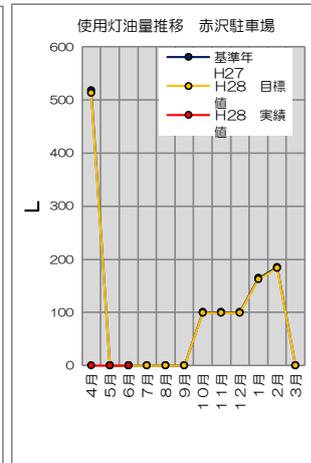
評価
達成

節電と同じく取組には積極さを感じた。今後も継続していきたい。



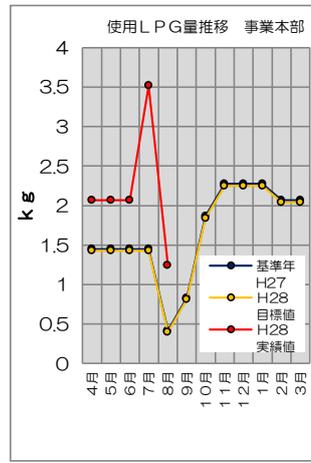
評価
達成

ホームタンク使用による無駄な追加注文が無かったと推察される。今後も継続していきたい。



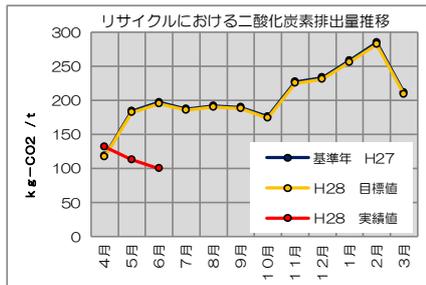
評価
達成

4月の多量使用は、原因究明できなかった。今後は注視していきたい。



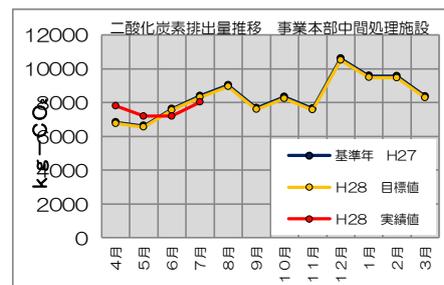
評価
未達成

浄水器が無くなった影響で、給湯器使用が増加したと推察される。今後は注視していきたい。



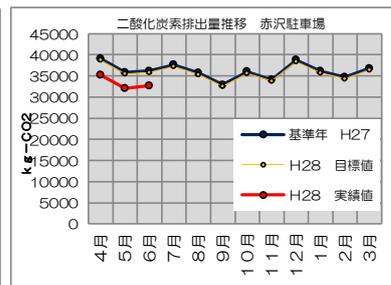
評価
達成

工場の節電並びに無駄な施設の稼働が無くなってきたことが奏功した。今後も効率の良い作業を推進していきたい。



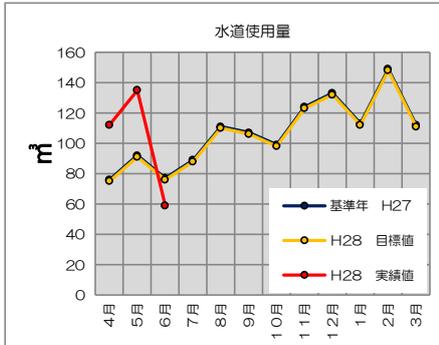
評価
未達成

該当する項目が、ほぼ6月になって目標値を下回っていることから、意識付けが影響したと推察される。今後も各人への意識付けを継続していきたい。

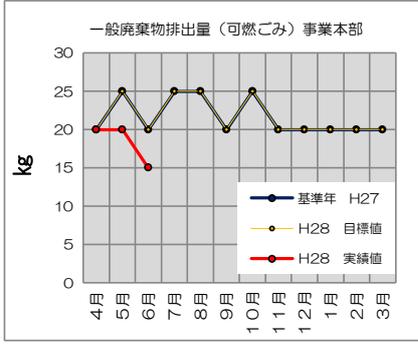


評価
達成

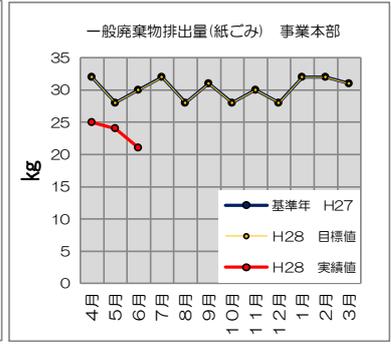
各人の取組に対する積極性を感じられた。今後も継続していきたい。



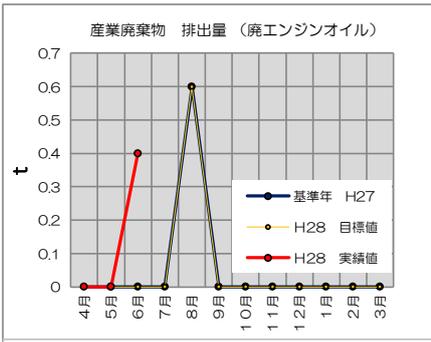
評価
未達成
年度初めの大幅な使用量増加は原因究明できなかったため、注視していきたい。



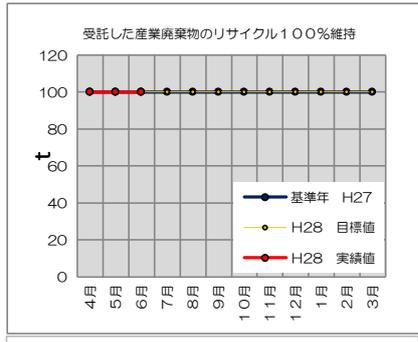
評価
達成
各人の意識が高かった。今後も継続していきたい。



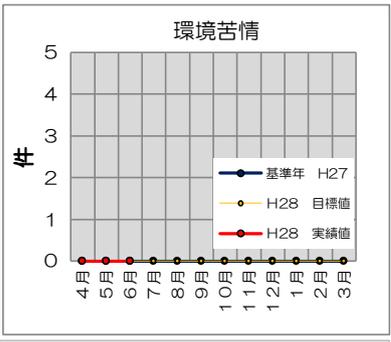
評価
達成
各人の意識が高かった。今後も継続していきたい。



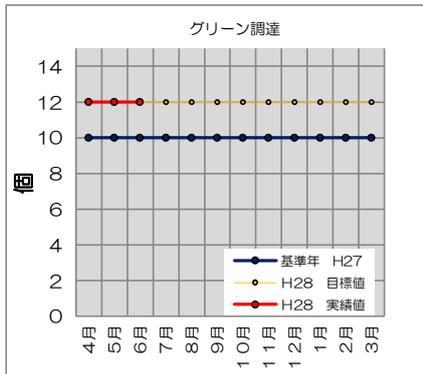
評価
未達成
年一の回収サイクルの問題か。今後も注視していきたい。



評価
達成
中間処理におけるムリムダの無い作業によるもの。今後も継続していきたい。



評価
達成
徹底した定期的な清掃活動によるもの。今後も継続していきたい。



評価
達成
各人の意識改革によるもの。今後も選定活動を継続していきたい。

・収集運搬

許可番号	許可年月日	許可期限	取り扱う産業廃棄物の種類（石綿含有産業廃棄物を含む。廃プラ、金属くず並びにガラス陶磁器くずは自動車等破砕物を含む。）																			
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物の糞尿	動物の死体	ばいじん	
0400007082	H26.3.13	H31.3.12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・収集運搬

許可番号	許可年月日	許可期限	取り扱う特別管理産業廃棄物の種類			
			廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性産業廃棄物
00450007082	H27.7.5	H32.7.4	0 ※4	0 ※5	0 ※6	0

※4揮発油類、灯油類及び軽油類に限る。
 ※5pH2.0以下のものに限る。
 ※6pH12.5以上のものに限る。

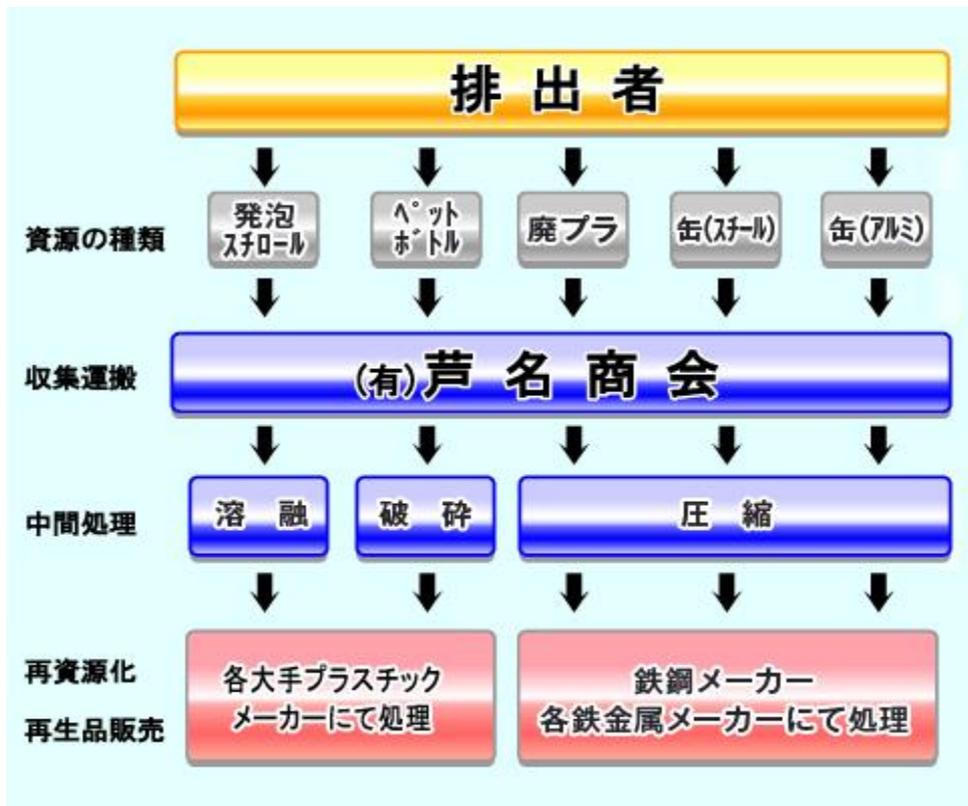
収集運搬車両/設備一覧

収集/運搬車両	設備
医療廃棄物専用収集車(保冷車)	2台 産廃 ダストバスケット集積用鉄箱 10個 【2.4m ³ 】
ユニック車 4t	1台 産廃 ダストバスケット集積用網張 60個 【2.4m ³ 】
ヒヤブ車 4t	1台 アームロール車用コンテナ・荷台 25台
ホイールローダ	1台 廃発泡スチロール溶融機(固定式) 2基
アームロール車 4t	4台 ペットボトル破砕機 1台
フォークリフト	1台 スチール缶・アルミ缶プレス機 2台
2tプレスパッカー車	1台 廃プラスチック類圧縮機 1基
4tダンプ車（深ダンプ車）	1台 低公害車の導入を今後積極的に検討しております。
1t平ボディ	1台
4tプレスパッカー車	13台
大型プレスパッカー車	4台
ワンボックスバン	1台
平ボディ ホロ付	1台

	設備名	能力・産廃の種類	台数
設備	圧縮処設Ⅰ	4.08t/日(0.51t/時間)・金属くず(空缶類に限る。)	1台
	圧縮施設Ⅱ	1.28t/日(0.16t/時間)・金属くず(空缶類に限る。)	1台
	圧縮施設Ⅲ	1.92t/日(0.24t/時間)・廃プラスチック類	1基
	破砕施設	2.4t/日(0.3t/時間)・廃プラスチック類(廃ペットボトル類に限る。)	1台
	溶融施設Ⅰ	1.23t/日(0.154t/時間)・廃プラスチック類(廃発泡スチロールに限る。)	2基
	溶融施設Ⅱ	1.2t/日(0.15t/時間)・廃プラスチック類(廃発泡スチロールに限る。)	2基

発泡スチロール・ペットボトル・缶のリサイクル事業

「ゴミを減らす」への取り組み
(有) 芦名商会もリサイクルに取り組んでおります。



受託した産業・一般廃棄物の処理量

平成27年度

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t	
収集運搬	一般廃棄物		5250	
	汚泥		4.81	
	廃油		5.23	
	廃プラスチック		596.16	
	紙くず		0	
	木くず		7.84	
	繊維くず		0.1	
	動植物性残渣		5.64	
	金属くず		17.45	
	ガラス・陶		116.01	
	がれき類		37.28	
	感染性廃棄物		42.95	
	廃酸		5.23	
廃アルカリ		0.2		
収集運搬量合計			838.9	
中間処理	廃プラ(発泡スチロール)	溶融	142.45	
	廃プラスチック(ペットボトル)	破碎	193.36	
	廃プラ	圧縮	7.55	
	金属くず(空缶類)	圧縮	187.77	
うち再資源化等	廃プラ(発泡スチロール)	溶融	142.45	
	廃プラスチック(ペットボトル)	破碎	193.36	
	廃プラ	圧縮	7.55	
	金属くず(空缶類)	圧縮	187.77	
	再資源化等量小計		531.13	
中間処理合計			531.13	
最終処分			0	
最終処分量合計			0	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分			
	再資源化	廃プラ(発泡スチロール)	溶融	142.45
		廃プラスチック(ペットボトル)	破碎	193.36
		廃プラ	圧縮	7.55
		金属くず(空缶類)	圧縮	187.77
		再資源化等量小計		531.13
中間処理後処分量合計			531.13	